



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21  
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内  
☎026(235)2800 FAX026(235)0016  
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／川橋昭義 幹事／青木 宏 クラブ会報委員長／佐藤吉朗  
SAA／伊東義次 副SAA／坂本千尋

第1573回例会 2020年（令和2年）11月13日（金）夜例会

ロータリーは機会の扉を開く  
ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

会長挨拶

川橋昭義会長



長野県新型コロナウイルス警戒レベル3になり、フェイスシールドを会員一人一個準備し、感染予防の為に配慮します。レベルが下がるまでお使いください。これから先、どのような状況になるのか分かりませんがレベル4、5になる可能性が高くなっております。レベル5の場合「長野西ロータリークラブ ガイドライン」により、例会・事業・委員会等の活動は中止となり、Web会議の開催となります。そのようなにならないよう祈るばかりです。

10月30日はガバナー公式訪問があり、有難いガバナーの話をいただく事が出来ました。ガバナー歓迎の時には、緊張のあまり上手に歓迎の挨拶も出来ず心残りですが、何とか無事に終わり会長としての事業も半分となりました。

10月31日は、会員家族委員会による秋の親睦ゴルフコンペを行い、「村田秀雄」会員が優勝し、豪華な賞品を受け取っていました。

今夜は、2回目の夜例会です。夜例会は仕事が忙しく、日頃中々通常例会に出席が出来ない会員の為に、今年度から設けられました。夜例会は年間約5回程度予定していましたが、プログラム委員会との調整関係上7月17日と本日（残す所あと1回）、来年3月5日の3回となっておりますので、どうか夜例会を楽しんでいただきたいと思います。



最後になりますが、次期役員・理事候補者の指名委員の委嘱をクラブ細則第三条第1節並びにクラブ内規1により、現会長、及び歴代会長経験者として出席をお願いしたいと思います。オブザーバーとして会長エレクト・現幹事・幹事エレクトも出席をお願いします。指名委員会は11月20日に開催いたしますので宜しくお願い致します。

幹事報告

青木 宏幹事

- ・10月は、ガバナー補佐事前訪問例会、ガバナー公式訪問例会、秋の親睦ゴルフコンペ、急遽変更した23日の森林（もり）例会の振替などたくさんの方の行事にご協力いただき、ありがとうございました。
- ・11月のロータリーレートは、1ドル104円です。
- ・クラブでフェイスシールドを購入いたしました。お一人様一枚で配慮致します。例会時にご持参ください

11月のお祝い事

おめでとうございます



- <会員誕生記念> 小山浩太郎さん 相馬栄治郎さん
- <夫人誕生会員> 坂本典子さん
- <結婚記念会員> 伊東義次さん 柄澤重登さん
- 松本克幸さん 中野欣哉さん
- 大橋東二郎さん 若麻績信昭さん

11/13 (会員41名) 出席20名 出席率52.63%



・川橋昭義さん☆藤澤さん久しぶりです。今夜の卓話よろしくお祈いします。

・青木 宏さん☆藤澤くん。久しぶりです。色々大変でしたね。今日は、よろしくお祈いします。

- ・太田裕志さん☆藤澤さん、お久しぶりです。大変な体験されましたね。頑張ってください。
- ・藤澤克彦さん☆1年ぶりの出席です。ご心配をおかけ致しました。皆様に感謝致します。
- ・村田秀雄さん☆藤澤さん、お久しぶりです。大変でしたね。卓話よろしくお祈いします。親睦ゴルフコンペ優勝させて頂きました。当日は天気も良く同組の若麻績さん、清水さん、瀧澤さんのパートナーにも恵まれ、ありがとうございました。

・合計 12,000円      ・スヌーピー-2,747円  
 ・累計 279,643円



11 / 20 本日のプログラム

会員卓話 林 智成さん  
 「SDG' Sについて」

例会案内

- 11月27日 休会
- 12月4日 年次総会  
 会員卓話 狩野 土さん  
 「趣味の模型について」
- 12月11日 年末忘年会
- 12月18日 会員卓話 宮原友昭さん  
 「ハーブティーについて」

会員卓話 藤澤 克彦さん

「災害後」



昨年10月の台風19号災害で営んでいる印刷会社が被災いたしました。その際にクラブからお見舞いを頂戴したこと。被災による特別な計らいもいただきましたこと。心より御礼申し上げます。今回卓話を設定いただいたことも併せて感謝いたします。



あれから一年が経ちました。当時は2mの泥水に沈んだ会社の惨状を目の当たりにし、茫然とするばかりで何から手をつけていいのかわからない状況でした。私自身、食事も喉を通らず寝ることも出来ず、身体に疲労の限界が来る中、瞬間的な決断をいくつも迫られる日々。そんな状況の中、様々な支援を頂きました。物資やお見舞いだけでなく泥だらけになっての泥出しなど皆自分ごととして必死に動いてくださいました。人の暖かさを感ただけだけでなく「必ず復活するぞ」という強い思いが湧いてきました。人からの支援は本当に力になる。と実感。お陰様で比較的早期に設備復旧へ繋ぐことができたと思っております。また、その後のコロナウイルスの蔓延による事業の停滞もありました。5月には扱っていたスーパーのチラシ全てがキャンセルされたことに始まり、ほぼ全ての仕事が止まってしまいました。水害の復興が完全で無い状況下で更に売上6割減という緊急状態に陥り「耐えられないかも」という思いもありました。しかしながら、そんな状況の中でもコロナ需要と呼ばれる新商品の開発や様々な工夫をしたことで、お客様にも支えていただき何とか急場をしのいでいます。



この一年、企業として「危機的状态からの事業継続力」や「危機的状态からの変化対応力」また、経営者として「覚悟」や「リーダーシップ」・「決断力」を試されていると感じています。それはきっと誰もが経験できない貴重なことだと思っています。このことを無駄にすることなく皆様に恩返しできるように今まで以上に努力して参りたいと思います。

支えてくださる皆様に心からの感謝を込めて。